

再編計画とまちだ未来の会と鶴川図書館大好き!の会

2017年初めに、町田市公共施設再編計画案の中に、図書館の再編と文学館の存廃検討が挙げられていることを知る

2017年4月に「まちだ未来の会」を立ち上げ、町田市の財政、「再編計画」案の内容、施設ごとの現状などについて、毎月学習会を開催

市議会に対して、4つの請願を提出、いずれも本会議で全会一致或いは賛成多数で採択された。

- ①市民生活に根ざした再編計画の策定を求める請願(2017年9月議会に提出)
- ②鶴川図書館の存続を求める請願(2017年9月議会に5621筆の署名を提出、全会一致で採択)
- ③市民文学館の存続を求める請願(2017年12月議会に提出)
- ④さるびあ図書館の存続を求める請願(2018年3月議会に提出)

鶴川の人たちは

2018年5月、鶴川市民センターと和光大学ホプリホール鶴川の2会場で、図書館主催のワークショップ「鶴川地域の図書館のこれから」開催。参加者の多くが鶴川図書館の存続を前提に、熱心な議論を交わした。

しかしながら・・・

市は

6月、請願採択やワークショップでの市民の声を全く無視する形で、鶴川図書館を駅前図書館に集約する内容の「町田市公共施設再編計画」を策定。

10月、教育委員会は、生涯学習審議会に「町田市立図書館のあり方見直しについて」を諮問。

2019年1月、生涯学習審議会は答申を提出。

2月、教育委員会で図書館再編方針決定、3月議会に行政報告。

まちだ未来の会は

鶴川図書館問題にテーマを絞って、2018年12月末から5月まで毎月1回鶴川市民センターで計5回の緊急集会を通して、地域の人たちに状況を伝え、住民と共に存続を願う活動を始め、市長への要望書署名活動開始。子どもたちによる「鶴川図書館大好き!の絵」の募集も開始。

→2019年5月19日第22回学習会で「鶴川図書館大好き!の会」を立ち上げた。